

## コリント人への手紙第一 13 章 1 節から 13 節：はるかにまさる道。それは、愛。

愛とは何ですか？今日、わたしたちは「靈的賜物」について学ぶ中で、まさにこの疑問と直面します。愛という英語では厄介な言葉です。日本語ではもう少し具体的だと思います。わたしは妻を愛していますし、息子を愛しています。しかし、わたしはピザもハンバーガーもとんかつも、きれいな景色も、ボードゲームで勝つことも大好きです。もちろん、神も大好きです。つまり、他者を愛するという。これはどういうことなのか、もっと理解する必要があります。思い出して下さい。今日の聖書箇所においても、パウロは靈的な賜物について述べているのです。パウロは一連の賜物を列挙して 12 章を終えます。そして、少なくとも最初に挙げた 3 つの賜物には明確な番号を振っています。これらの賜物はその性質上、教会の設立に役立つものです。列挙した賜物の最後、彼は異言の賜物と異言を解釈する賜物で締めくくっています。これらの賜物は、超自然的な言葉の賜物です。それから、パウロは「私は今、はるかにまさる道を示しましょう」という文章を添えて、今日、わたしたちが学ぶ 13 章に進みます。「はるかにまさる道」とは何か。パウロは議論を進めていき、「愛の賜物」がすべての賜物に勝ることを明らかにしていきます。

13 章を読み始めていきます。パウロは最初に「愛はすべてにおいて優位であること」を描いています。まず、1 節から 3 節を読んでみましょう。1 たとえ私が人の異言や御使いの異言で話しても、愛がなければ、騒がしいどらや、うるさいシンバルと同じです。2 たとえ私が預言の賜物を持ち、あらゆる奥義とあらゆる知識に通じていても、たとえ山を動かすほどの完全な信仰を持っていても、愛がないなら、私は無に等しいのです。3 たとえ私が持っている物のすべてを分け与えても、たとえ私のからだを引き渡して誇ることもになっても、愛がなければ、何の役にも立ちません。パウロの議論で注目すべきことがあります。それは、異言の賜物や異言を解釈する賜物や預言の賜物と対比して、愛がそれらよりも優位である、と言っていることです。彼は、靈的な賜物のリストの中で、最後に異言の賜物を挙げています。異言については先週、わたしは 2 種類あると説明しました。自分が話せない言語として理解されることであろうと、人の異言であろうと、神に向けた靈的な言葉である天使の異言であろうと、いずれにしても愛の精神をもって実践するものでなければ意味がありません。パウロは明らかに靈的な賜物に言及しています。そうはいつでも、彼が言及していることは、わたしたちが発するすべての言葉に対しても間違いなく当てはまるのです。エペソ人への手紙 4 章 15 節には「15 むしろ、愛をもって真理を語り、あらゆる点において、かしらであるキリストに向かって成長するのです。」と書かれています。たとえ相手が聞きたくない言葉、相手が拒絶するかもしれない真理を語る言葉であったとしても、わたしたちは愛をもって語る。こうした態度は、キリストに似た者の態度なのです。わたしはこれまで、多くのクリスチャンがソーシャルメディアの中で、聖書の真理を愛のない憎しみに満ちた言葉で語っているのを見たことがあります。こうした態度は、クリスチャンらしい議論の姿でも伝達の仕方でもありません。ゴングとシンバルの音は大きいですが、子供がそのシンバルを長時間叩いて家中を回るの、あまり気持ちのいいものではありません。わたしたちは、箴言 25 章 11 節に言われるように「11 時宜にかなって語られることばは、銀の彫り物にはめられた金のりんご。」でありたいと願います。

パウロは、賜物のリストの先頭に戻ります。彼は預言と信仰を対比させます。あなたが最も強い信仰を持っているとします。最も素晴らしい預言の賜物を持っているとします。誰もがあなたの話に耳を傾けたいと思うような方法を持っているとします。あなたが神の神秘を説明することができると思います。しかし、あなたが高慢になってしまい、愛がなくなってしまい、傲慢になってしまうならば、実際には何も伝わらないのです。それから、パウロは一見すると賜物には見えないもの、人が犠牲的に与えること、人が信仰のために喜んで殉教することを話題にします。パウロは、こうした行為を賜物とみなします。そして、彼はこうした行為ですら、他者への愛がなければ意味がない、と言っています。本当にすごいことです。人を愛さずして、どうして自分のすべてを人のために捧げることができるのでしょうか？人に良く思われたくて、本当は自分のプライドのためにやってもいいはずですが、殉教してでも自分の信仰を貫くことはできます。しかし、自分を迫害する人を愛することができなければ、その殉教は殉教として成し遂げられたことにはならないようです。殉教する。この模範とはどういふものなのでしょうか。これをイエス様はわたしたちに十字架上で示して下さいました。政府と宗教指導者たちは、イエス様が本当は何者であるかを知らないままに、怒りを燃え上がらせて、イエス

様を十字架につけてしまいました。ルカによる福音書 23 章 34 節で「父よ、彼らをお赦してください。彼らは、自分が何をしているのかが分かっていないのです。」と言っているとおりです。このイエス様の姿、これが愛というものなのです。そもそも、なぜイエス様が遣わされたのか、なぜあの十字架にかけられたのか、その究極の模範がこの姿なのです。イエス様が身をもって模範を示された目的は、ヨハネによる福音書 3 章 16 節に「16 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」と記されています。

つまり、わたしたちが賜物を用いるにも、わたしたちが真理を語るにも、主のために奉仕をおこなうにも、常に愛の心で行わなければならない。このことは明らかです。しかし、どのような愛なのでしょう。人を愛しなさい。聖書が意味することは何でしょうか。神が意味することは何なのでしょう。パウロはこのことについて、4 節から 7 節において「愛の説明」を記しています。4 愛は寛容であり、愛は親切です。また人をねたみません。愛は自慢せず、高慢になりません。5 礼儀に反することをせず、自分の利益を求めず、苛立たず、人がした悪を心に留めず、6 不正を喜ばずに、真理を喜びます。7 すべてを耐え、すべてを信じ、すべてを望み、すべてを忍びます。今日の説教の冒頭、わたしが言ったことを思い出して下さい。わたしは「愛という英語自体に非常に曖昧さがある」と指摘しました。聖書はギリシャ語で愛について記述しています。わたしたちがまず知っておくべきことがあります。それは、ギリシャ語は他の言語ほど不正確ではないので、パウロが語ろうとしている愛とはどのようなものを区別しやすいことです。古代ギリシャ語では、愛を表す言葉が 4 つ使われていました。まず、エロスという言葉がありました。これはロマンチックな愛、性的な愛を意味する言葉です。もちろん、夫婦の会話では用いる言葉ですが、聖書には出てきません。2 つ目は「フィレオ」です。これは聖書では「兄弟愛」と訳されています。ヘブル人への手紙 13 章 1 節「1 兄弟愛をいつも持っていなさい。」といった箇所に見られます。この愛には、相手に対する強い愛情が含まれますが、恋愛や性的な意味合いではありません。次に、フィレオと似たような言葉がもう一つあります。しかし、特に親と子のような家族的な愛を示しています。その言葉は「ストルゲ」です。聖書では、ローマ人への手紙 1 章 31 節に「情け知らず」と訳されているように、人々がこの愛を持っていないという意味で否定的に使われています。フィレオとの複合語として使われることもあります。最後に、「アガペ」という言葉です。この言葉は、ほとんど聖書全体に見られる愛という言葉を示しています。パウロが指摘しているように、このタイプの愛は、自己犠牲的なものです。アガペは、愛する対象の善に焦点を合わせることで、神がわたしたちに対して持っている愛には種類があるのです。

この愛を表す言葉は何なのか、考えてみてください。寛容であり...わたしたちはよく他人に対して忍耐できなくなってしまうものです。わたしたちは、自分たちの時間軸において神が望むことをしたださらないといって、忍耐できなくなることがあります。親切で...わたしたちはあまりにも頻繁に他者、特にわたしたちが愛していると言っている人たちに対して、怒りを爆発させることがあります。優しさとは、相手を立てるような行動や言葉のことです。相手を一人の人間として、また相手がどんな状況にあるのかを気にしていることを示すものです。パウロは、愛をこのような肯定的な言葉で特徴付けた後、今度は愛を「～ではない」と否定的な言葉で特徴付けて列挙していきます。妬みも自慢もしない。この 2 つは同じ意味合いです。もし、わたしたちが本当に誰かを愛しているならば、相手の持っているものをうらやんだり、自分の持っているものを自慢したりはしないでしょう。次に、愛は高慢でもなく、礼儀に反することもせずと書かれています。高慢であることや礼儀に反するということは、プライドの高さを表しています。心理学用語ではナルシズムと呼ばれます。こうした態度は、相手よりも自分の方が優れていると思う気持ちが態度に現れることです。相手が何を言っているか、何をしているかよりも、自分が何をしなければならないか、何を言わなければならないかの方が重要である、という思いが態度に現れることです。このような態度は、キリストに従う者として決してあってはならないことです。しかし、わたしたちはあまりにも頻繁に、配偶者、同僚、友人、そして誰に対しても、まさにそのように接してしまいます。そして、「自分の利益を求めず」と言われます。これは無私無欲です。人を愛するという意味は、自分が望むものを捨て、相手のために良いことを追求することです。苛立たず...実践するのは難しいです。わたしたちは、愛する人に対して、どれほど頻繁に、ただイライラしていることでしょうか。人がした悪を心に留めず...わたしたち



は、自分が愛していると言っている人に良いことが起こったとき、心から喜んでいるでしょうか？それとも、彼らが受け取って、自分が受け取らなかったものを密かにうらやんだり恨んだりしているでしょうか？

**不義を喜ばず、真理を喜びとする。**再び2つの言葉のつながりです。実践することが難しいですね。もし、わたしたちが本当に誰かを愛しているならば、その人に聖書の真理を語るができるほど、その人を愛さなければならないのです。では、その人たちが罪深い行為をしたとしたら、その行為までもすべて受け入れる。これは本当の愛でしょうか？いいえ、そうではありません。自分の子供がゲイやレズビアンであることをカミングアウトして、同性である相手と結婚したいと言ったために、同性婚などに対するスタンスを変えたクリスチャンの親たちがいます。愛を実践するといっても、愛する人の罪を受け入れることはできないのです。あなたは、その人の罪を受け入れる必要はありません。しかし、愛する人とともに聖書の真理を貫くために、その人を愛していけばよいのです。最後に、パウロは「**愛はすべてを耐え、すべてを信じ、すべてを望み、すべてを忍びます。**」という4つの言葉を記して終えています。あなたは好きな人のことをどれだけ我慢できますか？すべてのことを我慢できますか？あなたは、愛する人のために最善を信じようとしていますか？最善を願いますか？わたしたちは時として、他人の言動に対して、その動機を自分たちで決めつけしまい、他人を最悪な形に疑ってしまうことがあります。最後に、愛する人がどのような目に遭おうとも、その人のそばに寄り添うこと。わたしたちはできるでしょうか？それとも、わたしたちは、伝統的な結婚の誓いのように「富めるときも貧しいときも、病めるときも健やかなるときも、彼らを支え、愛すること」は難しすぎるということを見捨てるでしょうか？

こうして、パウロは愛の永続的な側面についての考察を終えます。永続的な愛こそ、真の神の愛です。この愛は世にある多くの偽りの愛とは異なります。8節から13節を見てください。**8 愛は決して絶えることはありません。預言ならすたれます。異言ならやみます。知識ならすたれます。9 私たちが知るのとは一部分、預言するのとも一部分であり、10 完全なものが現れたら、部分的なものはすたれるのです。11 私は、幼子であったときには、幼子として話し、幼子として思い、幼子として考えましたが、大人になったとき、幼子のことはやめました。12 今、私たちは鏡にぼんやり映るものを見ていますが、そのときには顔と顔を合わせて見ることとなります。今、私は一部分しか知りませんが、そのときには、私が完全に知られているのと同じように、私も完全に知るようになります。13 こういうわけで、いつまでも残るのは信仰と希望と愛、これら三つです。その中で一番すぐれているのは愛です。**パウロが、愛は決して絶えない、預言や異言や知識の賜物はすたれる、と記しているのを見ると、わたしや多くの人々は、異言や預言のような超自然的な賜物のいくつかは今日もはや活動していない、という方向に受け止めていくようになります。歴史的に見ると、教会で異言が定期的に発生した記録がなくなってから、その空白期間は非常に長いものがあります。20世紀に入ってアズサ・ストリート・リバイバルを皮切りに、カリスマ的な賜物が教会で活発化するようになりました。このことは事実なのでしょうが？異言が2000年近くも姿を消していたことを考えると、疑問が湧いてくるのです。では異言の賜物がいつなくなるか。聖書には書かれていません。ただ「なくなる」と書かれているだけだ、と言わざるを得ません。パウロが語ることは、わたしたちが互いに完全に愛し合うことを実践して、神の愛を完全に経験するとき、天国で永遠に存在することになるのだ、と語っているのかもしれませんが。その時がいつ来るのか、はっきりしません。ただ、愛は永遠であることは明らかです。神がご自分の民に対してもっておられる愛には、このような側面があるのです。**エレミア書 31章3節は言います。「3 主は遠くから私に現れた。永遠の愛をもって、わたしはあなたを愛した。それゆえ、わたしはあなたに 真実の愛を尽くし続けた。」**今、わたしたちが賜物を発揮したところで、その賜物が何であれ、せいぜい全体の中の部分的なものであり、不完全なものです。わたしたちは、子どものように自分の賜物を発揮します。もちろん親としては、音楽、芸術、学業、スポーツなど、どんなことであれ、子どもが自分の賜物を発揮することを喜びます。でも、子どものうちは、経験によって成長することがたくさんあります。わたしたちがこれらの賜物を使うことについて、神はどう見ておられるのでしょうか。わたしたちは、霊的に完全に成熟したときにのみ、これらの賜物を完璧に使うことができるのです。その時は、わたしたちがキリストと共にある永遠の時だけなのです。そうすると、これらの賜物のいくつかは、もはや必要とされなくなり、使われなくなります。しかし、キリストへの信仰、神の愛への希望、そして神と他者への愛は、文字どおり

完璧なものになるのです。もし、それらが永遠に続く賜物であるならばどうでしょう。わたしたちは時間と努力を費やして、これらの永遠に続く賜物を用いて、それを増やすことは理にかなっているのです。つまり、他者への愛こそが、わたしたちが霊的に歩む中で重視されるべきものなのです。愛は、私たち全員が分け合い、全員と一緒に成長することができる賜物なのです。

12節にあるように、地上にいる**私たちは鏡にぼんやり映るものを見ているだけです**。わたしたちには神の栄光はおぼろげにしか見えません。人間としての限界でおぼろげにしか理解できません。"神は**このように世界を愛された**"と言われたとき、神の愛の大きさを理解し始めることができるようになるのです。つまり、わたしたちは完璧に人を愛することはできないのです。しかし、わたしたちは、いつの日か**顔と顔を合わせて**神を見るようになり、**私たちが完全に知られているのと同じように、私たちも完全に知るようになります**。自分自身が愛を体験すること以上に、愛するモチベーションが湧くでしょうか。神の愛は、わたしたちが知り得ないほど広範囲に及んでいます。神はわたしたちを完全に知っています。神は、わたしたちが認識している以上に、わたしたちがどれほど罪深いかを知っておられます。しかし、**ローマ人への手紙 8章 38節から 39節**に書かれているような愛で、わたしたちを愛してくださっています。38 **私はこう確信しています。死も、いのちも、御使いたちも、支配者たちも、今あるものも、後に来るものも、力あるものも、39 高いところにあるものも、深いところにあるものも、そのほかのどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちを引き離すことはできません**。これが神の愛です。たとえ不完全な愛であっても、わたしたちはこの世界の中で人を愛していくのです。

わたしは、聖書の中で誰を愛しなさいと言われていたのか、最後に考えてみたいと思います。マタイによる福音書 22章 37節から 38節には、神と隣人を愛しなさい、と書かれています。37 **イエスは彼に言われた。「『あなたは心を尽くし、いのちを尽くし、知性を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。』** 38 **これが、重要な第一の戒めです。** 39 **『あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい』という第二の戒めも、それと同じように重要です。** 40 **この二つの戒めに律法と預言者の全体がかかっているのです。」**マタイによる福音書 5章 43節から 44節は、わたしたちに「敵に対してこのような愛を持ちなさい」と語っています。「フィレオのような愛」を持つということではありません。ここが重要です。親密な友情を持つ必要はありません。しかし愛さなければなりません。43 **『あなたの隣人を愛し、あなたの敵を憎め』**と言われていたのを、あなたがたは聞いています。44 **しかし、わたしはあなたがたに言います。自分の敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。**そして、ヨハネによる福音書 13章 34節から 35節では、キリストに従う者や他のクリスチャンを愛しなさいと書かれています。34 **わたしはあなたがたに新しい戒めを与えます。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。** 35 **互いの中に愛があるなら、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるようになります。」**最後に、エペソ人への手紙では、夫に愛を具体的に命じています。エペソ人への手紙 5章 25節は言います。25 **夫たちよ。キリストが教会を愛し、教会のためにご自分を献げられたように、あなたがたも妻を愛しなさい。**あなたは、人々にどのように愛を示していますか？あなたはどのように神を愛していますか？あなたはどのように他者を愛していますか？あなたは敵をどのように愛していますか？あなたはどのように信仰の仲間を愛していますか？あなたは自分の配偶者をどのように愛していますか？**「わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい」**というキリストの命令を、わたしたちは本当に守っていると言えるでしょうか？イエス様は、わたしたちに対する神の愛を示すために死なれたのです。わたしたちは、神がわたしたちの人生に備えて下さった人々を愛するために、何を犠牲にしているのでしょうか？愛すること。それは神がこの地上でわたしたちに与えてくださった日々において、一人ひとりが追求するべき「はるかにまさる道」なのです。お祈りしましょう。

## 1 Corinthians 13:1-13 Love: The more excellent way

What is love? That's really the question we come to today in our study of Spiritual gifts. The thing about love is that it is a tricky word, at least in English, although perhaps a bit more specific in Japanese. I love my wife and my son...

But I also love pizza, hamburgers, tonkatsu, beautiful scenery and winning at board games. And of course I love God as well. So, obviously, we really need to understand better what it means to love another person. Remember that in the context of this section of 1 Corinthians Paul is discussing spiritual gifts. As he ends chapter 12 he ends by listing a set of gifts and giving distinct numbering to at least the first three gifts which by their nature are instrumental in the founding of the church. And then he concludes the list with focusing on tongues and interpreting tongues, in other words, supernatural gifts that involve words. With his transition statement, "[And I will show you a still more excellent way](#)," he leads into chapter 13 where we find ourselves today. It turns out as he continues his discussion on what constitutes that "[more excellent way](#)" that the gift that is above them all is the gift of love.

And it is specifically **The Preeminence of Love** that Paul first describes as we begin reading chapter 13. Let's start by reading verses 1-3. **13 If I speak in the tongues of men and of angels, but have not love, I am a noisy gong or a clanging cymbal. 2 And if I have <sup>a</sup>prophetic powers, and understand all mysteries and all knowledge, and if I have all faith, <sup>b</sup>so as to remove mountains, but have not love, I am nothing. 3 <sup>c</sup>If I give away all I have, and <sup>d</sup>if I deliver up my body to be burned,<sup>1</sup> but have not love, I gain nothing.** Notice that Paul begins by contrasting love with the gifts that he has just described. He starts at the end of his list by pointing out tongues, and really both versions of the gift of tongues that I described last week. Whether it is being understood in languages you don't speak, tongues of men, or spiritual language to God, tongues of angels, both are worthless if they are not practiced in a spirit of love. While Paul is clearly referencing the spiritual gifts he by mentioning speech, this definitely applies to any words we say. [Ephesians 4:15](#) says that we are to be [...speaking the truth in love, we are to grow up in every way into him who is the head, into Christ...](#) Part of Christlikeness is that our words, even words that are spoken in truth that the other might not want to hear and reject are to be spoken with love. I've seen on social media many Christians speak a lot of Biblical truth with a lot of unloving and hateful words. That is never supposed to characterize Christian discourse and communication. The gong and cymbal make a lot of noise, but it is not a pleasant noise to hear when your child goes through the house banging those cymbals together for a long time! We want our words to reflect [Proverbs 25:11, A word fitly spoken is like apples of gold in a setting of silver.](#)

Then he moves back towards the beginning of his list of gifts to contrast prophecy and faith. You can have the strongest faith, the most amazing gift of prophecy and explain the mysteries of God in ways that make everyone want to hear what you have to say, but if in the exercise of those gifts it leads to prideful unloving arrogance, then in reality you have nothing to offer. Then he moves on to might not seem like gifts at first, those who give sacrificially and those who are willing martyrs for their faith. This is really incredible that Paul is including these as gifts and then saying that even this level of commitment is meaningless without love for others. How could you give away everything you have for others without loving them? You could do it to have people think well of you and really do it for your own pride. You could be stand firm in your faith, even to the point of martyrdom, but apparently even in that if you don't love those persecuting you fail in that commitment. Jesus gave us the example on the cross of what is expected in martyrdom. As he hung there dying for our sins at the hands of angry government and religious leaders who were blind to who he truly was, he said in [Luke 23:34, "Father, forgive them, for they know not what they](#)



do.” That is love. It was the ultimate example of why Jesus was sent in the first place and why he was hanging on that cross. That purpose is seen in [John 3:16](#) which says, “For God so loved the world, that he gave his only Son, that whoever believes in him should not perish but have eternal life.”

So, it is clear that whatever gifts we use, whatever truth we speak, whatever service we do for the Lord must be done always with a heart of love. But what kind of love. What is it that the Bible means, that God means, when he tells us to love others. That is Paul’s concern as he keeps writing and gives us **The description of love** in verses 4-7. **4** <sup>e</sup>Love is patient and <sup>f</sup>kind; love <sup>a</sup>does not envy or boast; it <sup>b</sup>is not arrogant **5** or rude. It <sup>i</sup>does not insist on its own way; it <sup>j</sup>is not irritable or resentful;<sup>2</sup> **6** it <sup>k</sup>does not rejoice at wrongdoing, but <sup>l</sup>rejoices with the truth. **7** <sup>m</sup>Love bears all things, believes all things, hopes all things, <sup>e</sup>endures all things. Remember how I pointed out at the beginning that the word love itself is very inexact at least in English. The first thing you need to know about love as the Bible describes here is that the Greek language the Bible is written in helps us to differentiate what kind of love Paul is talking about, because it is not as inexact as other languages. There were four words for love used in ancient Greek. First you had the word *Eros*. This was the word for Romantic and sexual love. It is not found in the Bible, although of course hinted at in instructions for married couples. The second is *Phileo*. This is translated in the Bible as “brotherly love.” We see it in passages like [Hebrews 13:1](#), [Let brotherly love continue](#). This love involves strong feelings of affection for another person, but not in a romantic or sexual way. Then we have another word similar to *Phileo*, but specifically showing family type of love, such as between a parent and child. That word is *Storge*. In the Bible you see it used in a negative way to say people do not have this love in a couple of places like [Romans 1:31](#) where it is translated [heartless](#). You also see it used as a compound word with *Phileo*. Finally, we have the word *Agape*. That is the word that is mostly used for love throughout the Bible. As we see from this description that Paul gives us here, this type of love is self-sacrificing. It is focused on the good of the object of one’s love. There is the type of love God has for us.

Think about what the words that describe this love. *Patient*...how often do we get impatient with other people. We even get impatient sometimes with God because we don’t see him doing what we want in our timeline. *Kind*...we can all too often lash out in anger at others, especially those we say we love. Kindness can be seen in actions or words that build up the other person, that show the other person we care about what them as a person and what they are going through. After those two positive traits, we have a list of negative traits or things that love is not. It does *not envy or boast*. These two go together. If we truly love someone, we neither envy what they have or boast about what we have...or what they can do that we can’t or what we can do that they can’t. Next, it says love is *not arrogant or rude*. Arrogance and rudeness show pride and in psychological terms, narcissism. It is an attitude that you are better than the other person, what you have to do and to say is more important than whatever it is they are saying or doing. This should never be who we are as followers of Christ, but way too often we treat others even our spouses, our co-workers and friends, not to mention random people in exactly that way. Then we are told that love *does not insist on its own way*. This is selflessness. To love others means that we give up what we want out of that relationship, to pursue the good for the other person. *Not being irritable*... there is a difficult one to practice. How often are we simply irritable with those we love. *Resentful*...are we sincerely happy when good things happen to those we say we love, or do we secretly envy or resent what they received and we didn’t?

*It does not rejoice at wrongdoing, but rejoices with the truth*. Again, we have two that go together, and these are difficult. If we truly love someone, then we must love them enough

to speak truth to them. Is it really loving to accept every action they make even if that action is sinful? No, it is not. I know Christian parents who have changed their stance on something like gay marriage because their children came out as gay or lesbian and wanted to marry their partner. You can practice all the other parts of love before this and still not accept sin in the life of the person you love. You do not have to be unloving in other ways to still stand for truth with those you love. Finally, Paul ends the description of love with four final statements, *Love bears all things, believes all things, hopes all things, endures all things.* How much are you able to put up with in the person you love – all things? Are you going to believe the best and hope the best for the person that you love. We are quick to assign motives sometimes and believe the worst about another person. Finally, are we going to stay by that person we love's side no matter what they are going through? Do we go through it with them, or do we abandon them because it is too hard to support them and love them for richer, for poorer, in sickness or in health...to quote the traditional vows of marriage?

It is this enduring aspect of love that Paul ends his thoughts on. The endurance of love is what sets true Godly love apart from many false versions of love that world offers. Look at verses 8-13. **8 Love never ends. As for prophecies, they will pass away; as for tongues, they will cease; as for knowledge, it will pass away. 9 For <sup>a</sup>we know in part and we prophesy in part, 10 but <sup>a</sup>when the perfect comes, the partial will pass away. 11 When I was a child, I spoke like a child, I thought like a child, I reasoned like a child. When I became a man, I gave up childish ways. 12 For <sup>b</sup>now we see in a mirror dimly, but <sup>a</sup>then face to face. Now I know in part; then I shall know fully, even as <sup>f</sup>I have been fully known. 13 So now faith, hope, and love abide, these three; but the greatest of these is love.** These statements regarding other types of gifts are what lead me and many others to lean more to the direction that some of these supernatural gifts like tongues and prophecy are no longer active today. There is a very long gap in history where there is no record of the regular occurrence of tongues in the church. Then starting in the 20<sup>th</sup> Century with the Azusa Street revival, there has been an increasing number of charismatic gifts becoming more active in the church. Is it real? Perhaps, but it has caused me questions given that they did seem to disappear for nearly two thousand years. That being said, it has to be said that the Bible never says when those gifts will cease, only that they will. This could be speaking of ceasing in our eternal existence in Heaven when we both love perfectly and experience God's love in all of its perfection. It is not clear when, but it is clear that love is everlasting. We see this aspect of love in the love that God has for his people. [Jeremiah 31:3 says, ...I have loved you with an everlasting love; therefore I have continued my faithfulness to you.](#)

Any exercise of our gifts now, whatever that gift may be is partial and incomplete at best. We exercise our gifts like children. Of course as parents, we take joy in our children using their gifts, whether music, art, academics, sports whatever it might be. But as children, they a lot of growth to do in those things that is gained by experience. That is how God looks at our use of these gifts. We will only perfectly use these gifts when we are fully spiritually mature. That will only come in eternity when we are with Christ. But when that happens some of these gifts will no longer be needed or used. But our faith in Christ, our Hope in God's love for us and our love for God and others will be perfect in its expression. If those are gifts that continue into eternity, then does it not make sense that our time and effort is best spent in using and increasing in these gifts that will last? So, love for others should be what we focus on in our spiritual walk. It is the one gift that we all share and we can all grow in.

Here on this earth, we only **see in a mirror dimly**, like verse 12 says. We only dimly see God's glory, and we only dimly in our limited human way understand can begin to understand the immensity of God's love for us when we are told that "**God so loved the world.**" So we can only imperfectly love others. But some day we will see God **face to face**, and **shall know [him] fully, even as [we] have been fully known...**by him. Is there any stronger motivation to love than to experience love yourself? God's love is more extensive than we could ever know. He knows us fully. He knows how sinful we are, even more than we recognize in ourselves; and yet he loves us with a love that is described in **Romans 8:38-39**. **38 For I am sure that neither death nor life, nor angels nor rulers, nor things present nor things to come, nor powers, 39 nor height nor depth, nor anything else in all creation, will be able to separate us from the love of God in Christ Jesus our Lord.** That's the love God has for us. We are supposed to go into this world and love others, however imperfect our love may be, in the same way.

I want to close by thinking about who we are told to love in the Bible. **Matthew 22:37-38** tells us to love God and our neighbor, meaning whoever we are around. **37And he said to him, "You shall love the Lord your God with all your heart and with all your soul and with all your mind. 38This is the great and first commandment. 39And a second is like it: You shall love your neighbor as yourself. 40On these two commandments depend all the Law and the Prophets."**

**Matthew 5:43-44** tells us that we are to have this love for our enemies. It is important that it doesn't say have a *phileo* type of love for them. You don't have to have close friendship with them, but you do have to love them. **43 "You have heard that it was said, 'You shall love your neighbor and hate your enemy.' 44 But I say to you, Love your enemies and pray for those who persecute you.** Then in **John 13:34-35**, Jesus tells us we are to love other followers of Christ, other Christians. **34 A new commandment I give to you, that you love one another: just as I have loved you, you also are to love one another. 35 By this all people will know that you are my disciples, if you have love for one another."** Finally, in Ephesians, husbands are given a specific command to love. **Ephesians 5:25** says, **25Husbands, love your wives, as Christ loved the church and gave himself up for her...** How are you doing in showing love to all these different people? How are you loving God? How are you loving others? How are you loving your enemies? How are you loving your fellow believers? How are you loving your spouse? Can we truly say that we are obeying Christ's command to **love one another: just as I have loved you?** Jesus died to show God's love for us. What are we sacrificing to love the people that God has placed in our lives? Love is truly the more excellent way that each of should be pursuing every day God gives us on this earth. Let's pray.